

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース
日本円コース
通貨αコース

運用報告書 (全体版)

第71期 (決算日 2020年11月20日)

第72期 (決算日 2020年12月21日)

第73期 (決算日 2021年1月20日)

第74期 (決算日 2021年2月22日)

第75期 (決算日 2021年3月22日)

第76期 (決算日 2021年4月20日)

(作成対象期間 2020年10月21日～2021年4月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	約10年間 (2014年10月21日～2024年10月18日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
47期末(2018年11月20日)	5,616	30	△ 7.4	7,123	△ 6.3	—	99.5	3,366
48期末(2018年12月20日)	5,237	30	△ 6.2	6,624	△ 7.0	—	99.3	3,097
49期末(2019年1月21日)	5,504	30	5.7	6,969	5.2	—	98.9	3,163
50期末(2019年2月20日)	5,749	30	5.0	7,357	5.6	—	97.5	3,246
51期末(2019年3月20日)	5,763	30	0.8	7,408	0.7	—	99.3	3,153
52期末(2019年4月22日)	5,678	30	△ 1.0	7,313	△ 1.3	—	99.5	3,062
53期末(2019年5月20日)	5,686	30	0.7	7,378	0.9	—	99.2	3,055
54期末(2019年6月20日)	5,373	30	△ 5.0	7,006	△ 5.0	—	99.0	2,750
55期末(2019年7月22日)	5,456	30	2.1	7,257	3.6	—	99.1	2,747
56期末(2019年8月20日)	4,939	30	△ 8.9	6,670	△ 8.1	—	98.6	2,437
57期末(2019年9月20日)	5,154	30	5.0	6,999	4.9	—	99.0	2,511
58期末(2019年10月21日)	4,794	30	△ 6.4	6,498	△ 7.2	—	99.3	2,304
59期末(2019年11月20日)	4,440	30	△ 6.8	5,926	△ 8.8	—	98.9	2,079
60期末(2019年12月20日)	4,763	30	8.0	6,575	11.0	—	99.4	2,176
61期末(2020年1月20日)	4,966	30	4.9	6,895	4.9	—	99.0	2,233
62期末(2020年2月20日)	4,662	30	△ 5.5	6,284	△ 8.9	—	98.9	2,053
63期末(2020年3月23日)	2,173	30	△ 52.7	2,853	△ 54.6	—	98.3	951
64期末(2020年4月20日)	2,668	30	24.2	3,417	19.8	—	98.1	1,169
65期末(2020年5月20日)	3,091	30	17.0	4,339	27.0	—	98.0	1,412
66期末(2020年6月22日)	3,083	30	0.7	4,541	4.6	—	98.0	1,411
67期末(2020年7月20日)	2,830	30	△ 7.2	3,999	△ 11.9	—	98.0	1,281
68期末(2020年8月20日)	2,850	30	1.8	4,174	4.4	—	97.9	1,279
69期末(2020年9月23日)	2,553	30	△ 9.4	3,528	△ 15.5	—	98.1	1,139
70期末(2020年10月20日)	2,508	30	△ 0.6	3,669	4.0	—	97.9	1,100
71期末(2020年11月20日)	2,762	30	11.3	4,384	19.5	—	98.2	1,198
72期末(2020年12月21日)	2,821	30	3.2	4,671	6.5	—	98.3	1,187
73期末(2021年1月20日)	2,996	30	7.3	5,111	9.4	—	98.1	1,240
74期末(2021年2月22日)	2,963	30	△ 0.1	5,111	0.0	—	98.2	1,210
75期末(2021年3月22日)	3,210	30	9.3	5,770	12.9	—	98.1	1,237
76期末(2021年4月20日)	3,283	30	3.2	5,858	1.5	—	98.2	1,254

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

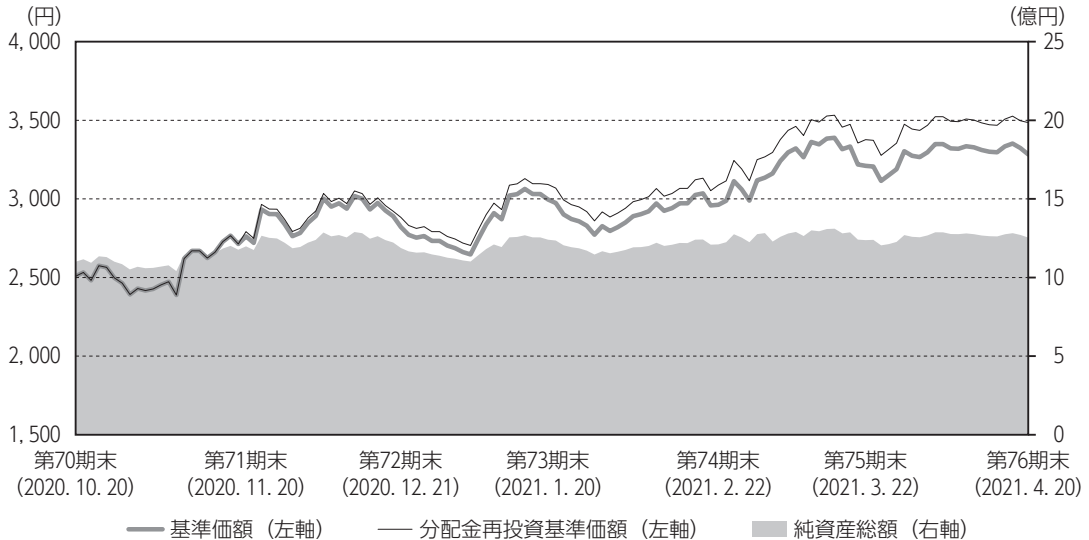
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第71期首：2,508円

第76期末：3,283円（既払分配金180円）

騰落率：39.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことや米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第71期	(期首)2020年10月20日	2,508	—	3,669	—	—	97.9
	10月末	2,430	△ 3.1	3,579	△ 2.4	—	97.7
	(期末)2020年11月20日	2,792	11.3	4,384	19.5	—	98.2
第72期	(期首)2020年11月20日	2,762	—	4,384	—	—	98.2
	11月末	2,839	2.8	4,514	3.0	—	98.2
	(期末)2020年12月21日	2,851	3.2	4,671	6.5	—	98.3
第73期	(期首)2020年12月21日	2,821	—	4,671	—	—	98.3
	12月末	2,687	△ 4.8	4,441	△ 4.9	—	97.9
	(期末)2021年1月20日	3,026	7.3	5,111	9.4	—	98.1
第74期	(期首)2021年1月20日	2,996	—	5,111	—	—	98.1
	2021年1月末	2,827	△ 5.6	4,823	△ 5.6	—	98.3
	(期末)2021年2月22日	2,993	△ 0.1	5,111	0.0	—	98.2
第75期	(期首)2021年2月22日	2,963	—	5,111	—	—	98.2
	2月末	3,061	3.3	5,351	4.7	—	98.0
	(期末)2021年3月22日	3,240	9.3	5,770	12.9	—	98.1
第76期	(期首)2021年3月22日	3,210	—	5,770	—	—	98.1
	3月末	3,266	1.7	5,723	△ 0.8	—	98.4
	(期末)2021年4月20日	3,313	3.2	5,858	1.5	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 10. 21 ~ 2021. 4. 20）

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市況は、当作成期を通しておおむね上昇基調で推移しました。利益確定売りなどによって下落する局面もありましたが、新型コロナウイルスワクチンの普及や米国の追加経済対策の成立による景気回復期待、それらを受けた原油価格の上昇などがプラス要因でした。また、川中企業の堅調な業績動向も支援材料になりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2021年1月初旬にかけて、下落（円高）基調で推移しました。欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念や米国の金融緩和政策の継続などが下落要因でした。その後は、ワクチン接種の普及や経済対策への期待により米国金利が上昇したことを受け、上昇基調に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020. 10. 21 ~ 2021. 4. 20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

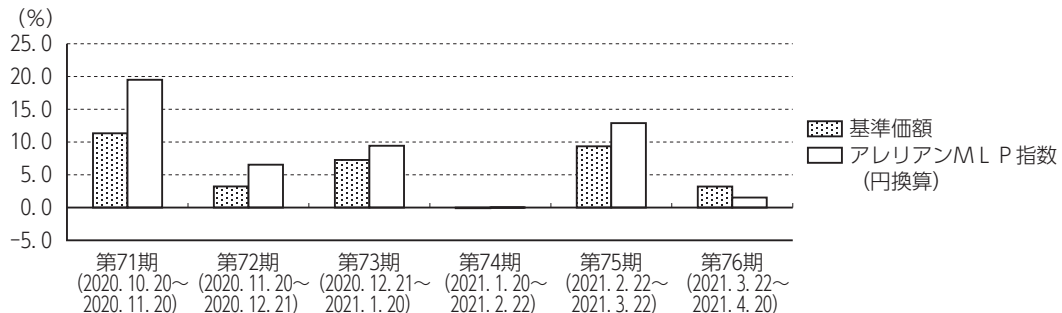
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2020年10月21日 ～2020年11月20日	2020年11月21日 ～2020年12月21日	2020年12月22日 ～2021年1月20日	2021年1月21日 ～2021年2月22日	2021年2月23日 ～2021年3月22日	2021年3月23日 ～2021年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.07	1.05	0.99	1.00	0.93	0.91
当期の収益 (円)	30	7	7	3	7	6
当期の収益以外 (円)	—	22	22	26	22	23
翌期繰越分配対象額 (円)	712	689	666	640	617	594

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.47円	✓ 7.19円	✓ 7.22円	✓ 3.87円	✓ 7.12円	✓ 6.93円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	267.68	269.50	271.07	272.70	274.04	275.11
(d) 分配準備積立金	443.88	✓ 442.53	✓ 418.16	✓ 393.76	✓ 366.29	✓ 342.35
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	742.04	719.23	696.46	670.34	647.47	624.41
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	712.04	689.23	666.46	640.34	617.47	594.41

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第71期～第76期 (2020. 10. 21～2021. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0. 639%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 953円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0. 409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	19	0. 642	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

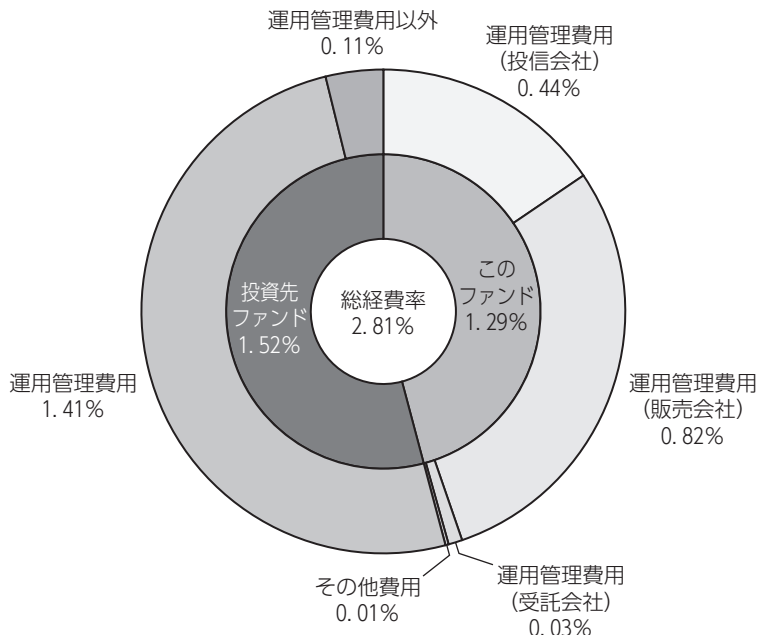
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.81%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.81%
①このファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

決算期	第 71 期 ～ 第 76 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,112.70084	28,222	8,813.70291	251,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

第 71 期 ～				第 76 期			
買 付			売 付				
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	8,813.70291	251,000	28

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 76 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	38,632.58946	1,230,950	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 76 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	9	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月20日現在

項 目	第 76 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,230,950	97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	37,586	3.0
投資信託財産総額	1,268,546	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年11月20日)、(2020年12月21日)、(2021年1月20日)、(2021年2月22日)、(2021年3月22日)、(2021年4月20日)現在

項目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
(A) 資産	1,213,786,297円	1,212,178,152円	1,254,435,552円	1,228,909,570円	1,253,236,696円	1,268,546,410円
コール・ローン等	37,528,830	44,168,985	37,728,325	40,488,739	38,894,215	37,586,231
投資信託受益証券（評価額）	1,176,247,484	1,167,999,184	1,216,697,244	1,188,410,848	1,214,332,499	1,230,950,197
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,983	9,983	9,983	9,983	9,982	9,982
(B) 負債	15,608,952	24,544,682	14,034,879	18,234,747	15,508,172	14,533,434
未払収益分配金	13,014,378	12,628,617	12,422,580	12,258,393	11,565,775	11,458,659
未払解約金	1,367,838	10,539,573	335,392	4,542,590	2,647,637	1,728,510
未払信託報酬	1,218,970	1,360,058	1,252,496	1,400,429	1,253,440	1,296,667
その他未払費用	7,766	16,434	24,411	33,335	41,320	49,598
(C) 純資産総額（A－B）	1,198,177,345	1,187,633,470	1,240,400,673	1,210,674,823	1,237,728,524	1,254,012,976
元本	4,338,126,101	4,209,539,170	4,140,860,001	4,086,131,087	3,855,258,619	3,819,553,298
次期繰越損益金	△ 3,139,948,756	△ 3,021,905,700	△ 2,900,459,328	△ 2,875,456,264	△ 2,617,530,095	△ 2,565,540,322
(D) 受益権総口数	4,338,126,101口	4,209,539,170口	4,140,860,001口	4,086,131,087口	3,855,258,619口	3,819,553,298口
1万口当り基準価額（C/D）	2,762円	2,821円	2,996円	2,963円	3,210円	3,283円

*第70期末における元本額は4,388,245,455円、当作成期間（第71期～第76期）中における追加設定元本額は107,732,476円、同解約元本額は676,424,633円です。

*第76期末の計算口数当りの純資産額は3,283円です。

*第76期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,565,540,322円です。

■損益の状況

第71期 自 2020年10月21日 至 2020年11月20日 第73期 自 2020年12月22日 至 2021年1月20日 第75期 自 2021年2月23日 至 2021年3月22日
 第72期 自 2020年11月21日 至 2020年12月21日 第74期 自 2021年1月21日 至 2021年2月22日 第76期 自 2021年3月23日 至 2021年4月20日

項目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(A) 配当等収益	13,351,569円	3,139,183円	3,037,843円	2,993,801円	2,781,023円	2,737,688円
受取配当金	13,352,078	3,139,808	3,038,215	2,994,107	2,781,421	2,737,937
受取利息	1	2	4	1	9	—
支払利息	△ 510	△ 627	△ 376	△ 307	△ 407	△ 249
(B) 有価証券売買損益	111,089,489	35,807,552	82,790,958	△ 2,637,941	105,465,045	37,767,962
売買益	111,429,564	37,747,549	83,595,693	810,235	109,919,867	38,057,879
売買損	△ 340,075	△ 1,939,997	△ 804,735	△ 3,448,176	△ 4,454,822	△ 289,917
(C) 信託報酬等	△ 1,226,736	△ 1,368,726	△ 1,260,473	△ 1,409,353	△ 1,261,425	△ 1,304,945
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	123,214,322	37,578,009	84,568,328	△ 1,053,493	106,984,643	39,200,705
(E) 前期繰越損益金	△ 2,606,583,688	△ 2,412,440,681	△ 2,339,803,962	△ 2,228,454,187	△ 2,107,381,753	△ 1,987,095,381
(F) 追加信託差損益金	△ 643,565,012	△ 634,414,411	△ 632,801,114	△ 633,690,191	△ 605,567,210	△ 606,186,987
(配当等相当額)	(116,124,813)	(113,450,993)	(112,246,434)	(111,430,902)	(105,651,522)	(105,083,233)
(売買損益相当額)	(△ 759,689,825)	(△ 747,865,404)	(△ 745,047,548)	(△ 745,121,093)	(△ 711,218,732)	(△ 711,270,220)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 3,126,934,378	△ 3,009,277,083	△ 2,888,036,748	△ 2,863,197,871	△ 2,605,964,320	△ 2,554,081,663
(H) 収益分配金	△ 13,014,378	△ 12,628,617	△ 12,422,580	△ 12,258,393	△ 11,565,775	△ 11,458,659
次期繰越損益金（G＋H）	△ 3,139,948,756	△ 3,021,905,700	△ 2,900,459,328	△ 2,875,456,264	△ 2,617,530,095	△ 2,565,540,322
追加信託差損益金	△ 643,565,012	△ 634,414,411	△ 632,801,114	△ 633,690,191	△ 605,567,210	△ 606,186,987
(配当等相当額)	(116,124,813)	(113,450,993)	(112,246,434)	(111,430,902)	(105,651,522)	(105,083,233)
(売買損益相当額)	(△ 759,689,825)	(△ 747,865,404)	(△ 745,047,548)	(△ 745,121,093)	(△ 711,218,732)	(△ 711,270,220)
分派準備積立金	192,767,665	176,685,931	163,727,481	150,222,960	132,400,563	121,954,930
繰越損益金	△ 2,689,151,409	△ 2,564,177,220	△ 2,431,385,695	△ 2,391,989,033	△ 2,144,363,448	△ 2,081,308,265

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,219,940円	3,028,864円	2,993,222円	1,584,448円	2,748,604円	2,649,474円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	116,124,813	113,450,993	112,246,434	111,430,902	105,651,522	105,083,233
(d) 分配準備積立金	192,562,103	186,285,684	173,156,839	160,896,905	141,217,734	130,764,115
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	321,906,856	302,765,541	288,396,495	273,912,255	249,617,860	238,496,822
(f) 分配金	13,014,378	12,628,617	12,422,580	12,258,393	11,565,775	11,458,659
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	308,892,478	290,136,924	275,973,915	261,653,862	238,052,085	227,038,163
(h) 受益権総口数	4,338,126,101口	4,209,539,170口	4,140,860,001口	4,086,131,087口	3,855,258,619口	3,819,553,298口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
47期末(2018年11月20日)	4,986	30	△ 7.7	6,755	△ 6.4	—	99.4	794
48期末(2018年12月20日)	4,647	30	△ 6.2	6,286	△ 7.0	—	99.3	737
49期末(2019年1月21日)	4,973	30	7.7	6,790	8.0	—	98.6	786
50期末(2019年2月20日)	5,138	30	3.9	7,098	4.5	—	99.4	805
51期末(2019年3月20日)	5,098	30	△ 0.2	7,090	△ 0.1	—	98.8	794
52期末(2019年4月22日)	4,985	30	△ 1.6	6,977	△ 1.6	—	99.5	770
53期末(2019年5月20日)	5,065	30	2.2	7,156	2.6	—	99.4	774
54期末(2019年6月20日)	4,844	30	△ 3.8	6,945	△ 2.9	—	99.3	725
55期末(2019年7月22日)	4,933	30	2.5	7,181	3.4	—	99.2	738
56期末(2019年8月20日)	4,508	30	△ 8.0	6,682	△ 6.9	—	98.7	668
57期末(2019年9月20日)	4,623	30	3.2	6,921	3.6	—	99.3	679
58期末(2019年10月21日)	4,267	30	△ 7.1	6,398	△ 7.6	—	99.3	625
59期末(2019年11月20日)	3,944	30	△ 6.9	5,830	△ 8.9	—	98.6	573
60期末(2019年12月20日)	4,188	30	6.9	6,420	10.1	—	99.3	565
61期末(2020年1月20日)	4,316	30	3.8	6,686	4.1	—	98.7	579
62期末(2020年2月20日)	4,019	30	△ 6.2	6,034	△ 9.8	—	98.3	525
63期末(2020年3月23日)	1,893	30	△ 52.2	2,751	△ 54.4	—	97.1	245
64期末(2020年4月20日)	2,367	30	26.6	3,384	23.0	—	97.8	309
65期末(2020年5月20日)	2,729	30	16.6	4,294	26.9	—	98.1	361
66期末(2020年6月22日)	2,740	30	1.5	4,544	5.8	—	97.9	362
67期末(2020年7月20日)	2,507	30	△ 7.4	3,975	△ 12.5	—	97.8	328
68期末(2020年8月20日)	2,557	30	3.2	4,204	5.8	—	97.8	333
69期末(2020年9月23日)	2,316	30	△ 8.3	3,586	△ 14.7	—	98.1	304
70期末(2020年10月20日)	2,247	30	△ 1.7	3,713	3.5	—	98.0	291
71期末(2020年11月20日)	2,508	30	13.0	4,510	21.5	—	98.3	309
72期末(2020年12月21日)	2,570	30	3.7	4,827	7.0	—	97.9	316
73期末(2021年1月20日)	2,713	30	6.7	5,255	8.9	—	98.1	313
74期末(2021年2月22日)	2,636	30	△ 1.7	5,177	△ 1.5	—	97.9	303
75期末(2021年3月22日)	2,770	30	6.2	5,661	9.4	—	97.9	317
76期末(2021年4月20日)	2,847	30	3.9	5,785	2.2	—	98.0	325

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

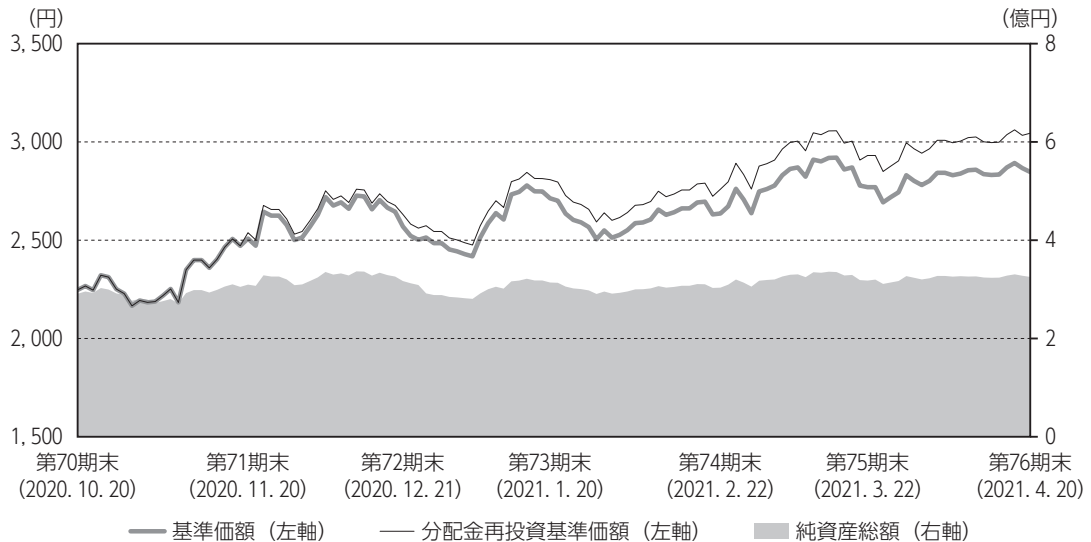
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第71期首：2,247円

第76期末：2,847円（既払分配金180円）

騰落率：35.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第71期	(期首)2020年10月20日	2,247	—	3,713	—	—	98.0
	10月末	2,193	△ 2.4	3,656	△ 1.5	—	97.5
	(期末)2020年11月20日	2,538	13.0	4,510	21.5	—	98.3
第72期	(期首)2020年11月20日	2,508	—	4,510	—	—	98.3
	11月末	2,577	2.8	4,642	2.9	—	97.8
	(期末)2020年12月21日	2,600	3.7	4,827	7.0	—	97.9
第73期	(期首)2020年12月21日	2,570	—	4,827	—	—	97.9
	12月末	2,443	△ 4.9	4,585	△ 5.0	—	97.7
	(期末)2021年 1月20日	2,743	6.7	5,255	8.9	—	98.1
第74期	(期首)2021年 1月20日	2,713	—	5,255	—	—	98.1
	2021年 1月末	2,550	△ 6.0	4,932	△ 6.1	—	97.9
	(期末)2021年 2月22日	2,666	△ 1.7	5,177	△ 1.5	—	97.9
第75期	(期首)2021年 2月22日	2,636	—	5,177	—	—	97.9
	2月末	2,707	2.7	5,381	3.9	—	97.3
	(期末)2021年 3月22日	2,800	6.2	5,661	9.4	—	97.9
第76期	(期首)2021年 3月22日	2,770	—	5,661	—	—	97.9
	3月末	2,781	0.4	5,523	△ 2.4	—	97.7
	(期末)2021年 4月20日	2,877	3.9	5,785	2.2	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 10. 21 ～ 2021. 4. 20）

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市況は、当作成期を通しておおむね上昇基調で推移しました。利益確定売りなどによって下落する局面もありましたが、新型コロナウイルスワクチンの普及や米国の追加経済対策の成立による景気回復期待、それらを受けた原油価格の上昇などがプラス要因でした。また、川中企業の堅調な業績動向も支援材料になりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020. 10. 21 ~ 2021. 4. 20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

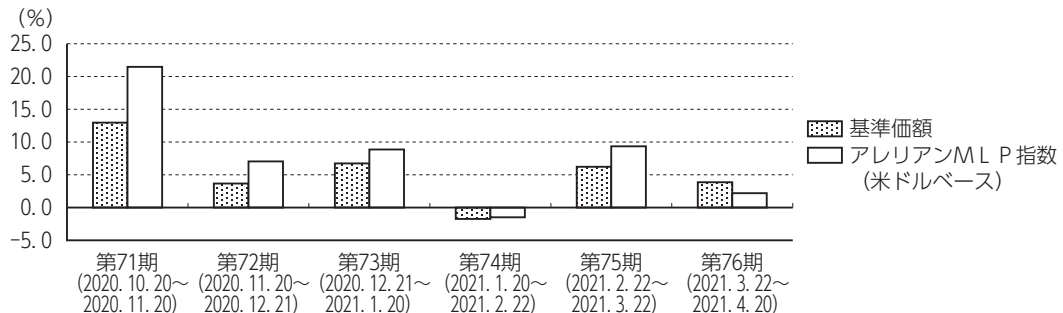
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2020年10月21日 ～2020年11月20日	2020年11月21日 ～2020年12月21日	2020年12月22日 ～2021年1月20日	2021年1月21日 ～2021年2月22日	2021年2月23日 ～2021年3月22日	2021年3月23日 ～2021年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.18	1.15	1.09	1.13	1.07	1.04
当期の収益 (円)	30	7	7	4	7	7
当期の収益以外 (円)	—	22	22	25	22	22
翌期繰越分配対象額 (円)	759	736	714	688	665	642

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.14円	✓ 7.36円	✓ 7.36円	✓ 4.34円	✓ 7.22円	✓ 7.06円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	418.59	421.01	422.99	424.85	426.60	428.37
(d) 分配準備積立金	339.54	✓ 338.26	✓ 313.64	✓ 289.15	✓ 261.74	✓ 237.19
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	789.27	766.64	744.00	718.34	695.56	672.63
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	759.27	736.64	714.00	688.34	665.56	642.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第71期～第76期 (2020. 10. 21～2021. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0.640%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,627円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	17	0.642	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

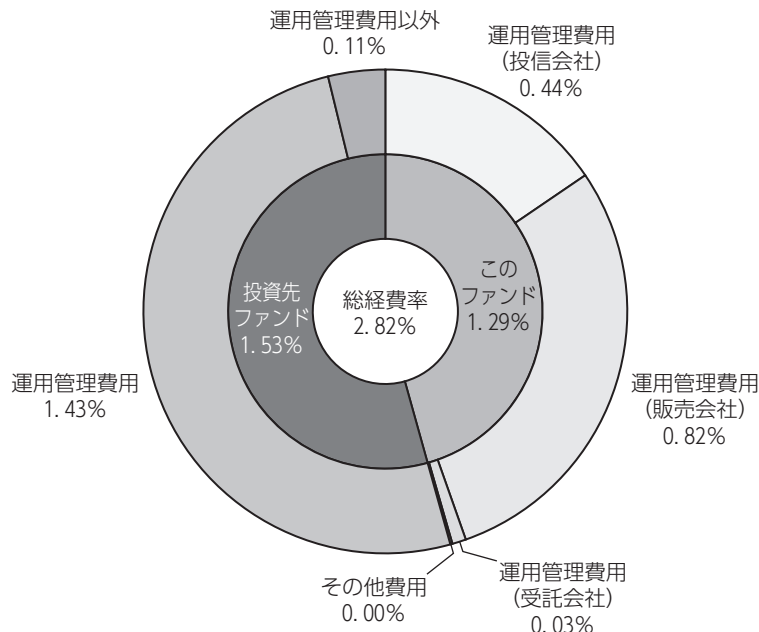
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.82%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.82%
①このファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.43%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

決算期	第 71 期 ~ 第 76 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	369.42925	8,250	2,627.67088	61,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

第 71 期 ~ 第 76 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	2,627.67088	61,000	23

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 76 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	11,762.87356	318,867	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 76 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	6	6	7

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月20日現在

項 目	第 76 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	318,867	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	7	0.0
コール・ローン等、その他	10,182	3.1
投資信託財産総額	329,057	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年11月20日)、(2020年12月21日)、(2021年1月20日)、(2021年2月22日)、(2021年3月22日)、(2021年4月20日)現在

項目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
(A) 資産	315,073,773円	321,314,694円	317,697,756円	308,053,622円	321,607,339円	329,057,321円
コール・ローン等	10,612,526	11,019,193	9,673,901	11,130,994	10,412,796	10,182,264
投資信託受益証券（評価額）	304,454,165	310,288,419	308,016,773	296,915,546	311,187,462	318,867,976
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	7,082	7,082	7,082	7,082	7,081	7,081
(B) 負債	5,491,698	4,459,602	3,801,926	4,636,619	3,775,742	3,772,754
未払収益分配金	3,703,226	3,698,043	3,471,469	3,453,250	3,442,671	3,427,545
未払解約金	1,467,996	401,536	5,593	821,605	2,984	—
未払信託報酬	318,456	355,748	318,572	353,236	319,534	332,546
その他未払費用	2,020	4,275	6,292	8,528	10,553	12,663
(C) 純資産総額（A－B）	309,582,075	316,855,092	313,895,830	303,417,003	317,831,597	325,284,567
元本	1,234,408,823	1,232,681,210	1,157,156,528	1,151,083,663	1,147,557,216	1,142,515,163
次期繰越損益金	△ 924,826,748	△ 915,826,118	△ 843,260,698	△ 847,666,660	△ 829,725,619	△ 817,230,596
(D) 受益権総口数	1,234,408,823口	1,232,681,210口	1,157,156,528口	1,151,083,663口	1,147,557,216口	1,142,515,163口
1口当り基準価額（C/D）	2,508円	2,570円	2,713円	2,636円	2,770円	2,847円

*第70期末における元本額は1,295,101,553円、当作成期間（第71期～第76期）中における追加設定元本額は49,552,445円、同解約元本額は202,138,835円です。

*第76期末の計算口数当りの純資産額は2,847円です。

*第76期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は817,230,596円です。

■損益の状況

第71期 自 2020年10月21日 至 2020年11月20日 第73期 自 2020年12月22日 至 2021年1月20日 第75期 自 2021年2月23日 至 2021年3月22日
 第72期 自 2020年11月21日 至 2020年12月21日 第74期 自 2021年1月21日 至 2021年2月22日 第76期 自 2021年3月23日 至 2021年4月20日

項目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(A) 配当等収益	3,878,272円	936,397円	865,762円	855,116円	842,725円	828,654円
受取配当金	3,878,434	936,555	865,878	855,192	842,838	828,733
受取利息	1	—	1	—	—	—
支払利息	△ 163	△ 158	△ 117	△ 76	△ 113	△ 79
(B) 有価証券売買損益	32,355,960	10,812,311	19,375,017	△ 5,874,603	18,262,625	11,771,983
売買益	32,782,052	10,896,659	19,864,331	85,127	18,426,689	11,846,410
売買損	△ 426,092	△ 84,348	△ 489,314	△ 5,959,730	△ 164,064	△ 74,427
(C) 信託報酬等	△ 320,476	△ 358,003	△ 320,589	△ 355,472	△ 321,559	△ 334,656
(D) 当期損益金（A+B+C）	35,913,756	11,390,705	19,920,190	△ 5,374,959	18,783,791	12,265,981
(E) 前期繰越損益金	△ 643,745,670	△ 606,343,164	△ 558,431,704	△ 535,698,171	△ 539,252,456	△ 517,758,859
(F) 追加信託差損益金	△ 313,291,608	△ 317,175,616	△ 301,277,715	△ 303,140,280	△ 305,814,283	△ 308,310,173
（配当等相当額）	（ 51,671,210）	（ 51,897,655）	（ 48,947,223）	（ 48,904,202）	（ 48,955,336）	（ 48,942,410）
（売買損益相当額）	（△ 364,962,818）	（△ 369,073,271）	（△ 350,224,938）	（△ 352,044,482）	（△ 354,769,619）	（△ 357,252,583）
(G) 合計（D+E+F）	△ 921,123,522	△ 912,128,075	△ 839,789,229	△ 844,213,410	△ 826,282,948	△ 813,803,051
(H) 収益分配金	△ 3,703,226	△ 3,698,043	△ 3,471,469	△ 3,453,250	△ 3,442,671	△ 3,427,545
次期繰越損益金（G+H）	△ 924,826,748	△ 915,826,118	△ 843,260,698	△ 847,666,660	△ 829,725,619	△ 817,230,596
追加信託差損益金	△ 313,291,608	△ 317,175,616	△ 301,277,715	△ 303,140,280	△ 305,814,283	△ 308,310,173
（配当等相当額）	（ 51,671,210）	（ 51,897,655）	（ 48,947,223）	（ 48,904,202）	（ 48,955,336）	（ 48,942,410）
（売買損益相当額）	（△ 364,962,818）	（△ 369,073,271）	（△ 350,224,938）	（△ 352,044,482）	（△ 354,769,619）	（△ 357,252,583）
分配準備積立金	42,054,657	38,907,432	33,674,107	30,330,018	27,422,133	24,479,196
繰越損益金	△ 653,589,797	△ 637,557,934	△ 575,657,090	△ 574,856,398	△ 551,333,469	△ 533,399,619

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,843,981円	907,864円	852,041円	499,644円	828,544円	806,634円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	51,671,210	51,897,655	48,947,223	48,904,202	48,955,336	48,942,410
(d) 分配準備積立金	41,913,902	41,697,611	36,293,535	33,283,624	30,036,260	27,100,107
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	97,429,093	94,503,130	86,092,799	82,687,470	79,820,140	76,849,151
(f) 分配金	3,703,226	3,698,043	3,471,469	3,453,250	3,442,671	3,427,545
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	93,725,867	90,805,087	82,621,330	79,234,220	76,377,469	73,421,606
(h) 受益権総口数	1,234,408,823口	1,232,681,210口	1,157,156,528口	1,151,083,663口	1,147,557,216口	1,142,515,163口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
47期末(2018年11月20日)	3,691	70	△ 7.2	—	98.1	2,715
48期末(2018年12月20日)	3,426	45	△ 6.0	—	99.1	2,385
49期末(2019年1月21日)	3,575	45	5.7	—	98.7	2,443
50期末(2019年2月20日)	3,699	45	4.7	—	98.8	2,517
51期末(2019年3月20日)	3,673	45	0.5	—	99.2	2,462
52期末(2019年4月22日)	3,593	45	△ 1.0	—	98.7	2,333
53期末(2019年5月20日)	3,586	45	1.1	—	98.9	2,296
54期末(2019年6月20日)	3,377	45	△ 4.6	—	98.7	2,096
55期末(2019年7月22日)	3,409	45	2.3	—	99.2	2,095
56期末(2019年8月20日)	3,064	45	△ 8.8	—	99.0	1,854
57期末(2019年9月20日)	3,154	45	4.4	—	98.4	1,869
58期末(2019年10月21日)	2,907	45	△ 6.4	—	99.5	1,690
59期末(2019年11月20日)	2,669	45	△ 6.6	—	99.4	1,475
60期末(2019年12月20日)	2,833	45	7.8	—	99.0	1,527
61期末(2020年1月20日)	2,934	30	4.6	—	99.1	1,579
62期末(2020年2月20日)	2,737	30	△ 5.7	—	97.4	1,351
63期末(2020年3月23日)	1,262	30	△ 52.8	—	96.5	607
64期末(2020年4月20日)	1,561	30	26.1	—	98.1	734
65期末(2020年5月20日)	1,803	30	17.4	—	98.0	842
66期末(2020年6月22日)	1,792	30	1.1	—	96.8	835
67期末(2020年7月20日)	1,637	30	△ 7.0	—	97.9	751
68期末(2020年8月20日)	1,640	30	2.0	—	97.9	652
69期末(2020年9月23日)	1,463	30	△ 9.0	—	98.1	573
70期末(2020年10月20日)	1,437	20	△ 0.4	—	98.0	548
71期末(2020年11月20日)	1,586	20	11.8	—	98.0	599
72期末(2020年12月21日)	1,623	20	3.6	—	97.9	590
73期末(2021年1月20日)	1,719	20	7.1	—	98.2	615
74期末(2021年2月22日)	1,685	20	△ 0.8	—	98.5	589
75期末(2021年3月22日)	1,805	20	8.3	—	97.9	613
76期末(2021年4月20日)	1,848	20	3.5	—	98.1	624

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

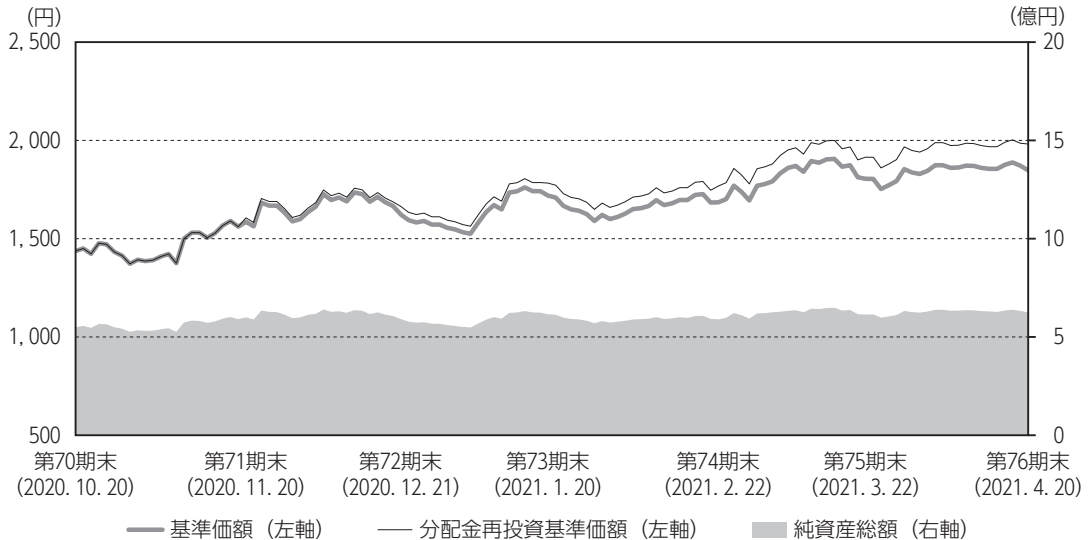
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第71期首：1,437円

第76期末：1,848円（既払分配金120円）

騰落率：37.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の変動要因

MLP（※）市況が上昇したことやオプションのプレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第71期	(期首)2020年10月20日	1,437	—	—	98.0
	10月末	1,393	△ 3.1	—	97.7
	(期末)2020年11月20日	1,606	11.8	—	98.0
第72期	(期首)2020年11月20日	1,586	—	—	98.0
	11月末	1,632	2.9	—	98.8
	(期末)2020年12月21日	1,643	3.6	—	97.9
第73期	(期首)2020年12月21日	1,623	—	—	97.9
	12月末	1,547	△ 4.7	—	97.9
	(期末)2021年1月20日	1,739	7.1	—	98.2
第74期	(期首)2021年1月20日	1,719	—	—	98.2
	2021年1月末	1,621	△ 5.7	—	98.1
	(期末)2021年2月22日	1,705	△ 0.8	—	98.5
第75期	(期首)2021年2月22日	1,685	—	—	98.5
	2月末	1,738	3.1	—	98.2
	(期末)2021年3月22日	1,825	8.3	—	97.9
第76期	(期首)2021年3月22日	1,805	—	—	97.9
	3月末	1,829	1.3	—	97.6
	(期末)2021年4月20日	1,868	3.5	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 10. 21 ~ 2021. 4. 20)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市況は、当作成期を通しておおむね上昇基調で推移しました。利益確定売りなどによって下落する局面もありましたが、新型コロナウイルスワクチンの普及や米国の追加経済対策の成立による景気回復期待、それらを受けた原油価格の上昇などがプラス要因でした。また、川中企業の堅調な業績動向も支援材料になりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2021年1月初旬にかけて、下落（円高）基調で推移しました。欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念や米国の金融緩和政策の継続などが下落要因でした。その後は、ワクチン接種の普及や経済対策への期待により米国金利が上昇したことを受け、上昇基調に転じました。

■通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは低下しました。

米国大統領選挙をめぐる不透明感などから、ボラティリティが上昇する場面が見られましたが、米国大統領選挙を通過し、為替相場の先行き不透明感が後退したことなどから、ボラティリティは低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：C B R Eクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.10.21 ~ 2021.4.20)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2020年10月21日 ～2020年11月20日	2020年11月21日 ～2020年12月21日	2020年12月22日 ～2021年1月20日	2021年1月21日 ～2021年2月22日	2021年2月23日 ～2021年3月22日	2021年3月23日 ～2021年4月20日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	1.25	1.22	1.15	1.17	1.10	1.07
当期の収益 (円)	20	6	6	4	6	6
当期の収益以外 (円)	—	13	13	15	13	13
翌期繰越分配対象額 (円)	701	688	675	660	646	633

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 28.38円	✓ 6.74円	✓ 6.78円	✓ 4.92円	✓ 6.72円	✓ 6.50円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	479.70	480.74	481.80	482.51	483.21	483.82
(d) 分配準備積立金	213.56	✓ 220.90	✓ 206.59	✓ 192.67	✓ 176.89	✓ 163.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	721.64	708.39	695.18	680.11	666.83	653.33
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	701.64	688.39	675.18	660.11	646.83	633.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第71期～第76期 (2020. 10. 21～2021. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	11円	0.638%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,683円です。
（投 信 会 社）	(4)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(7)	(0.408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.018	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(0)	(0.018)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	11	0.659	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

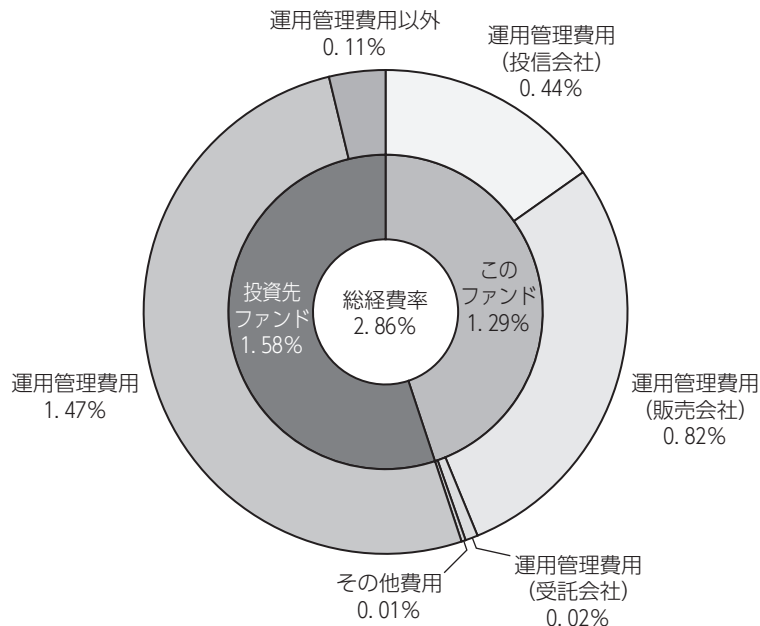
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.86%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.86%
①このファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.47%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

決算期	第 71 期 ~ 第 76 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,497,23825	千円 23,060	千口 7,142,60229	千円 121,878

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年10月21日から2021年4月20日まで)

第 71 期 ~				第 76 期			
買 付			平均単価 円	売 付			平均単価 円
銘 柄	口 数	金 額		銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円		千口	千円		円
				AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	7,142,60229	121,878	17

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 76 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	千口 32,151,68284	千円 612,553	% 98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第70期末	第 76 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年4月20日現在

項 目	第 76 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 612,553	% 96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	19,988	3.2
投資信託財産総額	632,552	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年11月20日)、(2020年12月21日)、(2021年1月20日)、(2021年2月22日)、(2021年3月22日)、(2021年4月20日)現在

項目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
(A) 資産	608,595,415円	600,134,991円	624,431,621円	600,541,696円	621,123,839円	632,552,239円
コール・ローン等	20,639,375	21,593,574	19,858,663	19,573,926	20,716,101	19,988,739
投資信託受益証券（評価額）	587,946,400	578,531,777	604,563,318	580,958,130	600,398,099	612,553,861
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,640	9,640	9,640	9,640	9,639	9,639
(B) 負債	8,648,324	9,334,864	8,995,855	10,876,140	7,650,052	8,060,373
未払収益分配金	7,564,435	7,279,167	7,160,369	6,998,448	6,797,439	6,758,122
未払解約金	469,500	1,369,818	1,201,361	3,169,366	214,136	632,867
未払信託報酬	610,507	677,687	621,980	691,780	617,996	644,793
その他未払費用	3,882	8,192	12,145	16,546	20,481	24,591
(C) 純資産総額（A－B）	599,947,091	590,800,127	615,435,766	589,665,556	613,473,787	624,491,866
元本	3,782,217,851	3,639,583,831	3,580,184,521	3,499,224,047	3,398,719,999	3,379,061,427
次期繰越損益金	△ 3,182,270,760	△ 3,048,783,704	△ 2,964,748,755	△ 2,909,558,491	△ 2,785,246,212	△ 2,754,569,561
(D) 受益権総口数	3,782,217,851口	3,639,583,831口	3,580,184,521口	3,499,224,047口	3,398,719,999口	3,379,061,427口
1口当り基準価額（C/D）	1,586円	1,623円	1,719円	1,685円	1,805円	1,848円

*第70期末における元本額は3,820,080,007円、当作成期間（第71期～第76期）中における追加設定元本額は93,714,964円、同解約元本額は534,733,544円です。

*第76期末の計算口数当りの純資産額は1,848円です。

*第76期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,754,569,561円です。

■損益の状況

第71期 自 2020年10月21日 至 2020年11月20日 第73期 自 2020年12月22日 至 2021年1月20日 第75期 自 2021年2月23日 至 2021年3月22日
 第72期 自 2020年11月21日 至 2020年12月21日 第74期 自 2021年1月21日 至 2021年2月22日 第76期 自 2021年3月23日 至 2021年4月20日

項目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(A) 配当等収益	10,837,761円	2,535,900円	2,467,611円	2,418,399円	2,314,903円	2,264,982円
受取配当金	10,838,027	2,536,221	2,467,791	2,418,549	2,315,067	2,265,141
受取利息	—	1	1	—	3	—
支払利息	△ 266	△ 322	△ 181	△ 150	△ 167	△ 159
(B) 有価証券売買損益	53,873,029	18,891,383	39,605,582	△ 6,572,971	45,837,245	19,705,650
売買益	54,066,068	19,978,718	40,003,029	479,326	47,088,790	19,867,340
売買損	△ 193,039	△ 1,087,335	△ 397,447	△ 7,052,297	△ 1,251,545	△ 161,690
(C) 信託報酬等	△ 614,389	△ 681,997	△ 625,933	△ 696,181	△ 621,931	△ 648,903
(D) 当期損益金（A+B+C）	64,096,401	20,745,286	41,447,260	△ 4,850,753	47,530,217	21,321,729
(E) 前期繰越損益金	△ 2,326,050,006	△ 2,173,716,038	△ 2,114,154,659	△ 2,025,322,387	△ 1,970,923,810	△ 1,911,834,375
(F) 追加信託差損益金	△ 912,752,720	△ 888,533,785	△ 884,880,987	△ 872,386,903	△ 855,055,180	△ 857,298,793
（配当等相当額）	(181,433,326)	(174,969,540)	(172,494,046)	(168,843,558)	(164,230,371)	(163,487,836)
（売買損益相当額）	(△ 1,094,186,046)	(△ 1,063,503,325)	(△ 1,057,375,033)	(△ 1,041,230,461)	(△ 1,019,285,551)	(△ 1,020,786,629)
(G) 合計（D+E+F）	△ 3,174,706,325	△ 3,041,504,537	△ 2,957,588,386	△ 2,902,560,043	△ 2,778,448,773	△ 2,747,811,439
(H) 収益分配金	7,564,435	7,279,167	7,160,369	6,998,448	6,797,439	6,758,122
次期繰越損益金（G+H）	△ 3,182,270,760	△ 3,048,783,704	△ 2,964,748,755	△ 2,909,558,491	△ 2,785,246,212	△ 2,754,569,561
追加信託差損益金	△ 912,752,720	△ 888,533,785	△ 884,880,987	△ 872,386,903	△ 855,055,180	△ 857,298,793
（配当等相当額）	(181,433,326)	(174,969,540)	(172,494,046)	(168,843,558)	(164,230,371)	(163,487,836)
（売買損益相当額）	(△ 1,094,186,046)	(△ 1,063,503,325)	(△ 1,057,375,033)	(△ 1,041,230,461)	(△ 1,019,285,551)	(△ 1,020,786,629)
分配準備積立金	83,945,425	75,577,932	69,235,755	62,143,789	55,610,455	50,521,541
繰越損益金	△ 2,353,463,465	△ 2,235,827,851	△ 2,149,103,523	△ 2,099,315,377	△ 1,985,801,487	△ 1,947,792,309

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,734,851円	2,455,220円	2,430,869円	1,722,218円	2,284,988円	2,198,080円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	181,433,326	174,969,540	172,494,046	168,843,558	164,230,371	163,487,836
(d) 分配準備積立金	80,775,009	80,401,879	73,965,255	67,420,019	60,122,906	55,081,583
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	272,943,186	257,826,639	248,890,170	237,985,795	226,638,265	220,767,499
(f) 分配金	7,564,435	7,279,167	7,160,369	6,998,448	6,797,439	6,758,122
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	265,378,751	250,547,472	241,729,801	230,987,347	219,840,826	214,009,377
(h) 受益権総口数	3,782,217,851口	3,639,583,831口	3,580,184,521口	3,499,224,047口	3,398,719,999口	3,379,061,427口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年4月20日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2020年3月31日現在

資産		
投資資産の評価額（簿価 \$31,143,524）	\$	15,879,500
現金および現金同等物		198,757
外国為替先渡契約による評価益		76,306
未収配当金		10,395
未収法人税等		1,775,784
その他資産		15,724
資産合計		<u>17,956,466</u>
負債		
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$39,018）		27,539
未払：		
専門家報酬		110,900
会計および管理会社報酬		15,000
保管会社報酬		8,189
運用会社報酬		6,780
名義書換代理人報酬		4,720
為替運用会社報酬		643
計算代理人報酬		179
負債合計		<u>173,950</u>
純資産	\$	<u>17,782,516</u>
純資産の内訳：		
払込資本金	\$	270,881,130
（受益者への分配金）		(106,869,907)
繰越損失		(146,228,707)
純資産	\$	<u>17,782,516</u>
クラス別純資産：		
通貨αクラス	\$	5,933,898
円ヘッジクラス		2,482,097
ノンヘッジクラス		9,366,521
	\$	<u>17,782,516</u>
発行済み受益証券		
通貨αクラス		47,140,321
円ヘッジクラス		14,274,649
ノンヘッジクラス		46,801,798

受益証券1口当り純資産額

通貨αクラス	\$	0.126
円ヘッジクラス	\$	0.174
ノンヘッジクラス	\$	0.200

損益計算書

2020年3月31日に終了した年度

投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$163,845控除後）	\$	416,106
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		2,705,986
		(2,705,986)
受取利息		10,114
投資収益合計		426,220

費用

運用会社報酬		217,730
専門家報酬		197,760
州法人税		130,798
保管会社報酬		45,751
会計および管理会社報酬		42,233
受託会社報酬		21,312
為替運用会社報酬		16,008
名義書換代理人報酬		9,782
登録料		5,934
計算代理人報酬		1,726
費用合計		689,034

税引前投資純損失		(262,814)
当期法人税控除額		-
税引後投資純損失		(262,814)

実現利益（損）および評価益（損）：

実現利益（損）：

証券投資		(4,482,482)
外国為替換算および外国為替先渡契約		21,894
売建オプション		160,141
実現損合計		(4,300,447)

評価益（損）の変動：

証券投資		(18,216,965)
外国為替換算および外国為替先渡契約		32,997
売建オプション		(15,598)
評価損の変動		(18,199,566)

実現および評価損		(22,500,013)
-----------------	--	---------------------

運用による純資産の純増	\$	(22,762,827)
--------------------	----	---------------------

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

投資明細表
2020年3月31日現在

出資口数	有価証券の明細	評価額
	カナダ (13.4%)	
	普通株 (13.4%)	
	エネルギー中流事業 (13.4%)	
45,093	Enbridge, Inc.	\$ 1,311,755
24,333	TC Energy Corp.	1,077,952
		<hr/>
	普通株合計 (簿価 \$2,881,397)	2,389,707
	カナダ合計 (簿価 \$2,881,397) (13.4%)	<hr/>
		\$ 2,389,707
	米国 (75.9%)	
	普通株 (27.7%)	
	エネルギー中流事業 (17.0%)	
106,500	Kinder Morgan, Inc.	1,482,480
36,000	ONEOK, Inc.	785,160
53,840	Williams Cos, Inc.	761,836
		<hr/>
		3,029,476
	集積・処理 (1.9%)	
49,700	Targa Resources Corp.	343,427
		<hr/>
		343,427
	天然ガスパイプライン・貯蔵 (8.8%)	
30,811	Cheniere Energy, Inc.	1,032,168
31,900	Tallgrass Energy LP	525,074
		<hr/>
		1,557,242
	普通株合計 (簿価 \$9,665,468)	<hr/>
	マスター・リミテッド・パートナーシップ (48.2%)	\$ 4,930,145
	エネルギー中流事業 (14.6%)	
243,877	Energy Transfer LP	1,121,834
103,239	Enterprise Products Partners LP	1,476,318
		<hr/>
		2,598,152
	集積・処理 (4.5%)	
61,881	Crestwood Equity Partners LP	261,757
45,170	MPLX LP	524,875
		<hr/>
		786,632
	天然ガスパイプライン・貯蔵 (3.9%)	
25,300	TC PipeLines LP	695,244
		<hr/>
		695,244
	原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (25.2%)	
10,800	Holly Energy Partners LP	151,524
45,613	Magellan Midstream Partners LP	1,664,419
63,900	NuStar Energy LP	548,901
29,500	Phillips 66 Partners LP	1,074,685
196,987	Plains All American Pipeline LP	1,040,091
		<hr/>
		4,479,620
	マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$18,596,659)	<hr/>
	米国合計 (簿価 \$28,262,127) (75.9%)	\$ 8,559,648
	投資総額 (簿価 \$31,143,524) (89.3%)	<hr/>
		\$ 13,489,793
	負債を超過する現金およびその他の資産 (10.7%)	<hr/>
		\$ 15,879,500
	純資産 (100.0%)	<hr/>
		1,903,016
		<hr/>
		\$ 17,782,516

2020年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	259,706,660	2020/4/27	U S D	2,332,411	\$ 76,306	\$ -	\$ 76,306

2020年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引残高

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	想定元本	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. , Tokyo	¥ 107.83	2020/4/3	2,500,000	\$ (27,960)	\$ (16,989)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. , Tokyo	106.40	2020/4/17	500,000	(11,058)	(10,550)
					\$ (39,018)	\$ (27,539)

通貨の略称

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第76期の決算日（2021年4月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年10月21日～2021年4月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2021年4月20日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（55,135,321千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2021年4月20日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,988	< 1.8 >

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

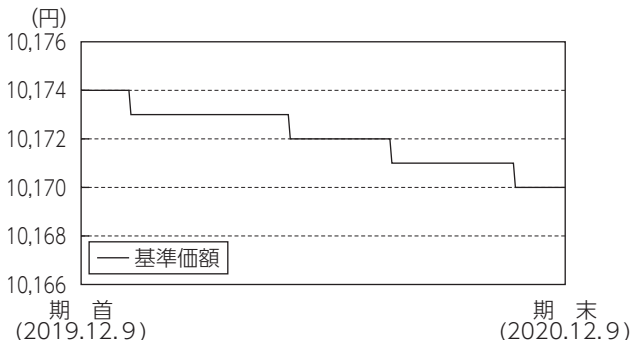
大和アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	騰落率	騰落率	
	円	%	%
(期首)2019年12月9日	10,174	—	—
12月末	10,174	0.0	—
2020年1月1月	10,173	△0.0	—
2月末	10,173	△0.0	—
3月末	10,173	△0.0	—
4月末	10,173	△0.0	—
5月末	10,172	△0.0	—
6月末	10,172	△0.0	—
7月末	10,172	△0.0	—
8月末	10,171	△0.0	—
9月末	10,171	△0.0	—
10月末	10,171	△0.0	—
11月末	10,170	△0.0	—
(期末)2020年12月9日	10,170	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,174円 期末：10,170円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩利を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

その他有価証券

(2019年12月10日から2020年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	242,997,393	242,997,453 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当期		末
	評価額	比率	
	千円	%	
国内短期社債等	999,970	<1.5>	

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	68,466,438	100.0
投資信託財産総額	68,466,438	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	68,466,438,583円
コール・ローン等	67,466,468,172
現先取引(その他有価証券)	999,970,411
(B) 負債	1,000,488,000
未払解約金	1,000,488,000
(C) 純資産総額(A - B)	67,465,950,583
元本	66,337,383,629
次期繰越損益金	1,128,566,954
(D) 受益権総口数	66,337,383,629口
1万口当り基準価額(C/D)	10,170円

* 期首における元本額は82,259,129,638円、当作成期間中における追加設定元本額は106,172,802,530円、同解約元本額は122,094,548,539円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 531,632,690円、ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 4,718,749,101円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ *R I C I *モティティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード99,008,902円、堅実バランスファンド - ハジメの一步- 569,302,583円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型) 983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,455,466,034円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフト- 1,988,495円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 37,213,381,442円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 12,502,578,661円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 5,944,161,915円、ダイワF E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワS M A専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ

/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ47,833,280円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 224,685,913円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ979,761円、DCスマート・アロケーション・Dガード11,929,087円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,170円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 26,744,855円
受取利息	309,257
支払利息	△ 27,054,112
(B) その他費用	△ 610,483
(C) 当期損益金(A + B)	△ 27,355,338
(D) 前期繰越損益金	1,431,737,066
(E) 解約差損益金	△ 2,104,683,137
(F) 追加信託差損益金	1,828,868,363
(G) 合計(C + D + E + F)	1,128,566,954
次期繰越損益金(G)	1,128,566,954

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。